

(別添)

次期森林計画についての森林管理署の検討方向

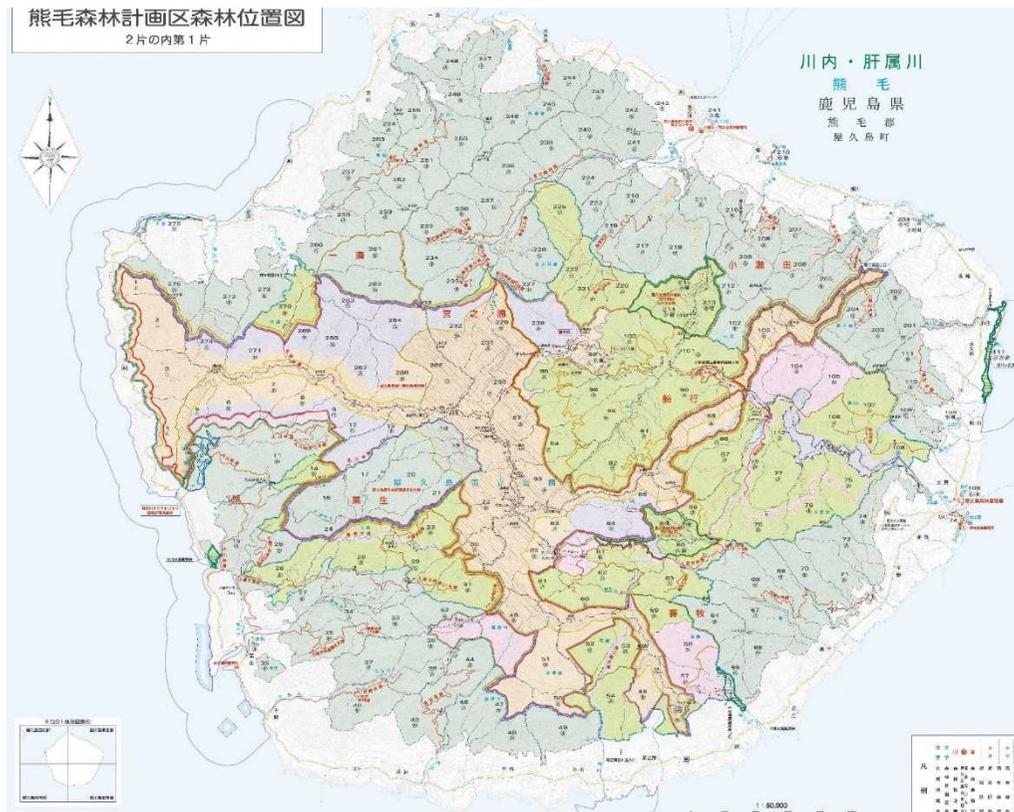
— 目次 —

1. 現行計画の概要
 - (1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項
 - (2) 国有林野の維持及び保存に関する事項
 - (3) 林産物の供給に関する事項
 - (4) 国有林野の活用に関する事項
 - (5) 国民の参加による森林の整備に関する事項
 2. 次期計画の検討方向
- * その他、アピールすべき事項

屋久島森林管理署

1. 現行計画の概要(平成28年4月1日～32年3月31日)

- ・熊毛森林計画の対象は、種子島及び屋久島からなっており、国有林野面積41,743haです。このうち10,260haが世界自然遺産地域に登録されています。また、大正10年に示された「屋久島国有林経営の大綱」により、前岳部分の約5千haが薪炭共用林野及び分収造林地となっています。
- ・計画区内の国有林野面積のうち天然林が76%、人工林が21%、その他が3%を占めています。
- ・水源かん養保安林が全体の91%に達し、種子島、屋久島の水がめとして重要な役割を担っているほか、登山などの森林レクリエーションや保健休養の場として多くの人に利用されています。
- ・カシ類、シイ類等の天然広葉樹林、スギ人工林、クロマツを主体とする防風林等からなっています。



(1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

① 機能類型に応じた管理経営

国有林野の管理経営に関する基本計画に即して、開かれた「国民の森林」に向けた取組を推進するため、個々の国有林野を重点的に発揮すべき機能に応じて、5つの機能類型に区分し、それぞれの発揮すべき機能に応じて管理経営を行っています。

機能類型区分(面積)	機能類型区分の考え方	目指すべき森林の姿
山地災害防止タイプ (9,046ha)	山地災害の防止及び土壌保全機能の発揮を重視	根や表土の保全、下層植生の発達した森林
自然維持タイプ (16,680ha)	原生的な森林生態系や希少な生物の成育・生息する森林など属地的な生物多様性保全機能の発揮を重視	良好な自然環境を保持する森林、希少な生物の育成・成育に適した森林
森林空間利用タイプ (200ha)	保健、レクリエーション、文化機能の発揮を重視	保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林
快適環境形成タイプ (該当なし)	快適な環境の形成の機能を発揮を重視	騒音の低減や大気の浄化など、人の居住環境を良好な状態に保全する役割を持つ森林
水源涵養タイプ (15,817ha)	水源の涵養の機能を発揮を重視第一とすべき森林	人工林の間伐や伐期の長期化、広葉樹の導入による育成複層林への誘導を図る森林であり、森林資源の有効利用にも配慮

② 森林の流域管理システムの下での森林・林業再生に向けた貢献

県・市町村等との密接な連携を図るとともに、組織力・技術・資源を活用し、民有林経営の支援等に積極的に取り組みます。

誘導伐実行箇所において、民有林関係との現地検討会を開催しています。



長期育成循環施業(誘導伐)を引き続き実施し、民有林関係者との現地検討会を開催し、持続可能な森林経営の実施と主伐再造林を推進します。

運営会議を通じて協定者(屋久島町、屋久島森林組合、鹿児島県森林整備公社)との連絡調整を密接に行い、諸課題について民国連携し取り組みます。

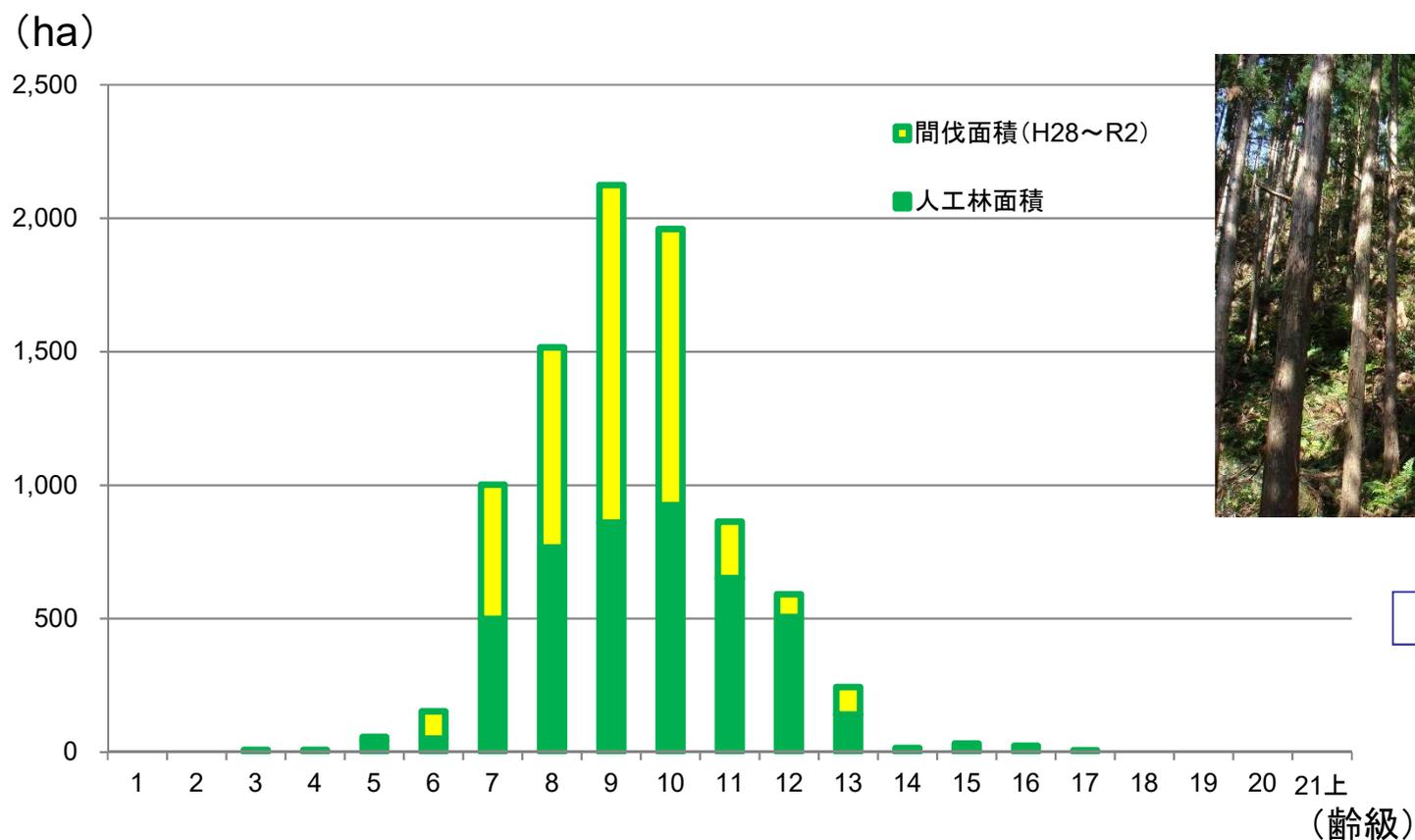


7月と3月に運営会議を開催するとともに、昨年度から開始した関係機関の事務レベルでの幹事会を毎月開催し、情報共有等を充実します。

③ 地球温暖化防止に向けた積極的な間伐等の推進

本計画区の人工林面積は約8,608haで、16年生から60年生の人工林面積は約8,285ha（人工林面積の96%）です。

また、現行計画（H28年度～32年度）では間伐を約4,093ha計画しており、森林吸収源対策のためにも間伐を推進しています。



注：1年齢級は1～5年生を表します。

④ 多様で健全な森林の整備・保全

間伐をはじめとした森林整備に積極的かつ着実に取り組むとともに、針広混交林化、複層林化、長伐期化などを通じて、多様で健全な森林の整備・保全を推進します。



現状(人工林)



針広混交林



長伐期化された森林

(2) 国有林野の維持及び保存に関する事項

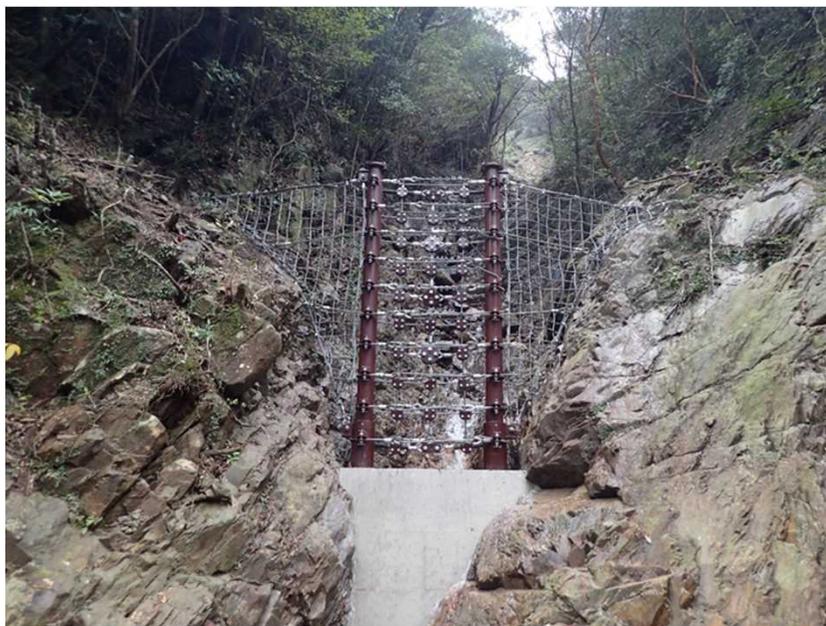
① 生物多様性の保全(保護林)

本計画区には貴重な天然林等が多数存在しており、これらについては保護林を設定し、適切に保護・保全を図っています。

種類	名称	特徴	面積(ha)
森林生態系保護地域	屋久島	原生的な自然と天然林を保存することにより、自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、学術研究などに寄与	15185.44
			内訳 保存地区:9600.55 保全利用地区:5584.89
植物群落保護林	種子島	ヤクタネゴヨウその他種子島の代表的天然林の保護	12.91
	早稲田川	ヤクタネゴヨウの種の保存の可能性が高く植物学上重要である群落の保護	7.13
	瀬切川	屋久島におけるヤクタネゴヨウの自生地のひとつであり、地域を代表する重要な群落	61.54

② 国民生活の安全・安心の確保に向けた効率的・効果的な治山事業の展開

安全・安心の確保に向けた効率的・効果的な治山対策に取り組んでいます。



屋久島町内の山地災害危険地区内の山腹工において、新工種(杭式土留工)を採用し、復旧治山事業を実施しています。



過去に発生した山地災害箇所について、安全・安心の確保のため優先度を上位に設定し、復旧治山事業を実施するなかで、屋久島地杉販売プロジェクト推進に向け、丸太残存型柵を屋久島地杉間伐材を採用し安定的な供給へ取組を進めています。

(3) 林産物の供給に関する事項

① 高効率・低コストな作業システムの定着

伐採、造林等の事業の実施の効率化を図りつつ、健全な森林を整備するとともに、木材の需要動向や木材産業の状況等を的確に把握しつつ、国有林材の安定的な供給を推進しています。

<記載例>



島内の製材工場や島外へ販売するための一次製品化の原材料となる木材を安定的に供給する「システム販売」を推進しています。



林業生産コストの削減を図るため、簡易で崩れにくい路網の整備を推進しています。

※ コンテナ苗の導入による低コスト造林、林地残材等C材の有効利用等に取り組んでいる場合には積極的に記述。

(4) 国有林野の活用に関する事項

① レクリエーションの森の保健・文化的利用の推進

優れた自然景観を有し、森林浴や自然観察、野外スポーツ等に適した森林をレクリエーションの森として設定し、地域の方々に提供しています。

<記載例>

種類	名称	概要	面積(ha)
風景林	大川の滝	海岸に近く、滝と海と緑の調和が素晴らしく、避暑には最適のところです。	12.96
	千尋の滝	屋久島中央部に水源を持つ鯛ノ川にある落差60mの滝であり、滝の南側の高台が展望台になっており、車で容易に訪れることが出来ることから、屋久島を代表する観光スポットとして知られています。	29.22
	田代ヶ浜	田代川清流と田代ヶ浜の砂浜並びに天然記念物枕状溶岩や幾つもの洞門等の景観が優れているところです。	43.99
自然 休養林	屋久島	<p>特異な生態系と優れた自然景観を有している屋久島において、ヤクスギを含む森林を比較的容易に鑑賞できるように「荒川地区」と「白谷地区」の2箇所からなり多くの人が訪れています。</p> <p>荒川地区(通称:ヤクスギランド)は、ヤクスギ、モミ、ツガ、ヒメシャラ、ヤマグルマの巨木を含む原生林と、藩政時代のヤクスギの切り株、試し切りの跡等が見られ、人と森林の歴史的な関わりが学習できます。</p> <p>白谷地区(通称:白谷雲水峡)は、ヤクスギを含む照葉樹天然林と一面を覆う地衣蘇苔植物、その中を流れる白谷川の清流と、谷に重なり合った花崗岩の巨石からなる溪谷を有しています。</p>	696.85
		<p>内訳</p> <p>白谷地区:426.52</p> <p>荒川地区:270.33</p>	

(5) 国民の参加による森林の整備に関する事項

① 国民参加の森林づくりと森林環境教育の推進

関係機関と連携した森林作りと森林環境教育を推進しています。

<記載例>

学校への森林教室を積極的に行い
自然と林業の大切さを伝えています。



小学校等に出向いて森林教室を実施し、
森林の働きや木材の利用等について説明しています。

九州沖縄の5大学と連携し人材育成や研究
フィールド提供などの取組を実施します。



九州内の各大学や関係機関と連携、
協力を強化しながら人材育成や研究
フィールド提供など様々な取組を実施し
ていく考えです。

2 次期計画の検討方向

(1)管理経営上の課題

- ・本計画区には世界遺産を含んでおり、島特有の環境や地形に配慮した施業により、国有林野が有する水源涵養機能や保険分化機能等の公益的機能を高度に発揮させていく必要があります。
- ・次期計画において間伐対象となる16年生から60年生の人工林の割合は約96%と極めて高く、健全な森林づくりのほか森林吸収源対策の上からも引き続き間伐を推進する必要があります。
- ・主伐期に入る人工林の割合が68%となることから、主伐だけではなく誘導伐の導入により長伐期施業に移行するなど、将来的に均衡のとれた齢級構成を構築し、安定的な森林資源の循環利用を目指す必要があります。
- ・主伐、誘導伐に伴う再生林計画においては、現在官民一体となり取り組んでいる挿し木による地スギ苗木の生産技術を確立し、安定的な苗木の供給が必要であります。
- ・近年特に森林生態系に影響を及ぼしているシカ対策や病虫害対策にも民有林と連携しつつ、効果的で素早い対応に努め、ヤクタネゴヨウマツなどの島特有の種の保存に努めていく必要があります。

・本計画区には、世界遺産、林業遺産、保護林、レクリエーションの森が設定されており、有識者による様々な調査や登山を楽しむ愛好者など数多くの方の入林があるため、これらの国有林を環境省や各自治体等と協力して適切に管理していく必要があります。

・本計画区には、数多くの希少種植物が自生しており、関係各所と協力してこれらの自生区域の環境保全に留意して国有林野を適切に管理していく必要があります。

・国産材の安定的供給を実現するため、生産システムのコスト縮減と生産性向上を進める必要があります。

・生産性向上を進める上で、島外搬出を含めた安定した販路を確保する必要があります。

・国民が安全・安心に暮らせる環境づくりに向けて、治山対策に取り組む必要があります。

(2) 計画内容

・森林の有する公益的機能の維持増進を旨とするとする管理経営を行うとの方針の下、多様で健全な森林整備・保全を行うほか、森林吸収源対策として引き続き間伐を推進するとともに、将来的に均衡のとれた齢級構成に移行させることに配慮しつつ、主伐・誘導伐とその後の再造林を計画的に推進する方向です。

・貴重な植物種の保護を目的とする保護林及び自然の観察や森林浴などの利用を目的とするレクリエーションの森については、現状を維持する方向です。

・島の固有種、希少種植物が計画区内に数多く点在することから、関係団体、有識者などから保全方法・区域などの情報を得て、環境に十分に配慮した森林施業、森林の保護・管理に努める方向です。

・生産システムのコスト縮減と生産性の向上を図るため、簡易で壊れにくい路網の整備を引き続き推進する方向です。

・民有林と連携して効果的な治山事業の実施に取り組むとともに、地域住民と共同して災害を減らす対策を進める方向です。